（７）その他定量的な目標

年度	内容	目標数値

２－２．定性的な目標

年度	内容

３．目標を達成するために取り組む措置（計画内容）

内容	実施時期

４．前年度計画書との比較

削除された目標・取組措置	理　　由
追加された目標・取組措置	理　　由

５．その他非化石エネルギーへの転換に関する事項及び参考情報

備考　１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　該当事項はその直前に付してある番号を○で囲むこと。
３　計画書冒頭の※印を付した欄には記入しないこと。
４　Ⅱの２の「計画内容」の欄については、対策の種類別に記入すること。
５　Ⅱの２の「エネルギー使用合理化期待効果」の欄には、基準年度を報告年度とし、計画完了年度における年間エネルギーの使用の合理化効果を原油の数量に換算して「ｋｌ」により記入すること。
６　Ⅱの３及びⅢの４には、Ⅱの２並びにⅢの２及び３について、それぞれ前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。
７　Ⅱの４には、Ⅱの２の欄に記入した計画に関連する上位の計画（グループ企業全体に関連するプロジェクト、全体計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。また、この欄のみでは記入が困難な場合には、関係資料を添付すること。
８　Ⅲの２－１（２）及び（５）の「非化石エネルギー自動車」とは、電気自動車、水素自動車（燃料電池自動車を含む。）、プラグインハイブリッド自動車及び専らバイオ燃料・合成燃料を使用する自動車をいう。「目標」の欄には、それぞれ値を記入すること。
９　Ⅲの２－１は、Ⅰの「貨客輸送区分」が１の場合は（１）及び（７）を、２又は３の場合は（２）、（３）及び（７）を、５の場合は（４）及び（７）を、６又は７の場合は（５）から（７）までを記載すること。